

問1 青年期は、子どもとしての保護された世界から離脱しつつも、未だ大人の社会に完全には受け入れられていない過渡期にあたる。このような、二つの異なる社会集団の境界に位置することで心理的な葛藤や不安定さを抱える青年の状態を「境界人（マージナル・マン）」と名付けた、ドイツ出身の心理学者は誰か。（2008年 全国公立入試 類似）

1. レヴィン 2. オルポート 3. エリクソン 4. ルソー

問2 アメリカの文化人類学者ルース・ベネディクトは、第二次世界大戦中の日本研究をもとに著書『菊と刀』を著した。彼女はこれの中で、西洋の「罪の文化」が個人の内面的な良心を基準にするのに対し、他者や世間からの評価や非難を意識して自らの行動を律する日本文化の特質を何と呼んだか。（2022年 全国公立入試 類似）

1. 罪の文化 2. 恥の文化 3. 和の精神 4. タテ社会

問3 医療技術の進歩や患者の権利意識の高まりを背景に、従来の医師主導の医療から、患者の自己決定を尊重する医療への転換が進んでいる。このうち、医師が病状や治療方針について適切な説明を行い、患者がそれを十分に理解した上で、自らの意思で治療に同意・選択することを何というか。（2022年 全国公立入試 類似）

1. リビング・ウィル 2. デザイナー・ベビー 3. インフォームド・コンセント 4. クオリティ・オブ・ライフ

問4 欲求不満が生じた際、無意識のうちに自己を守ろうとする防衛機制のなかで、「好きな異性に対して、自分の好意を隠すために、わざと意地悪く接したり冷たい態度をとったりする」というように、本心とは正反対の態度を強調してとる行動パターンに該当するものを何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 退行 2. 昇華 3. 反動形成 4. 同一化

問5 人間の精神構造を、本能的欲求の領域、道徳的良心や社会規範の領域、そして現実原則に従って両者を調整する領域の3つに分類し、それらの不調和から生じる精神的危機に対処するために無意識のうちに働く心理的メカニズム（防衛機制）を提唱した、オーストリアの精神医学者は誰か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. アドラー 2. クライン 3.フロイト 4. ホルナイ

問6 19世紀のヨーロッパにおいて、自らの社会の文明化の度合いを基準としてアジアやアフリカの文化を「遅れたもの」と評価し、自らの文化が他よりも優れているとみなして植民地支配を正当化したような、自らの属する集団の文化を基準に他文化を評価する態度を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. マルチカルチュラリズム 2. アシミレーション 3. エスノセントリズム 4. アカルチュレーション

問7 現代の生命倫理において、治癒の見込みがない病に冒され、耐え難い苦痛の中にある患者の自発的な要請に基づき、医師が致死薬を投与するなどして人為的に死を早める行為を何というか。なお、この行為はオランダやベルギーなど一部の国において、厳格な要件のもとで法的に容認されている。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 間接的安楽死 2. 医師補助自殺 3. 消極的安楽死 4. 積極的安楽死

問8 現代社会の諸課題を追究する際、収集したデータを適切に表現することが求められる。例えば、ある国におけるエネルギー源別の発電電力量の割合など、全体に対する各内訳の構成比率を視覚的にわかりやすく表現するのに最も適したグラフの名称を答えよ。（2014年 全国公立入試 類似）

1. 円グラフ 2. 帯グラフ 3. 棒グラフ 4. 面グラフ

問9 日常生活における具体的な経験や、そこで生じる問題への対処を思考の出発点とし、たえざる経験の再構成を通じて知性を高めていくことを重視した。行動や実践を通じて真理を探究するプラグマティズムを大成し、民主主義社会の発展には教育が不可欠であると説いたアメリカの哲学者は誰か。（2022年 全国公立入試 類似）

1. デューイ 2. パース 3. ジェームズ 4. ローティ

答え合わせ・解説 No.1

| | | |
|----|-----------------------|---|
| 問1 | 答え 1 レヴィン | ドイツ出身の心理学者であるレヴィンは、子どもから大人へと移行する過渡期にある青年が、双方の社会集団の境界に位置することから生じる心理的葛藤や不安定さを「境界人（マージナル・マン）」という概念で説明した。 |
| 問2 | 答え 2 恥の文化 | ルース・ベネディクトは、日本人の行動規範を分析する中で、内面的な罪の意識（良心）よりも、世間体や他者からの非難を恐れる心理が強く働く点に着目し、これを「恥の文化」と名付けた。これに対し、キリスト教的な絶対神に対する内面的な罪悪感を基準とする西洋の文化を「罪の文化」と位置づけた。 |
| 問3 | 答え 3 インフォームド・コンセント | 医療の現場において、患者の自己決定権を保障するために不可欠とされる手続きである。医師が専門的な知見に基づいて病状や治療内容、代替案、リスクなどを分かりやすく説明し、患者がそれを納得して自発的に同意・選択することを指す。これに類する概念として、尊厳死の意思表示であるリビング・ウィルや、性と生殖に関する権利であるリプロダクティブ・ヘルス/ライツなどがあるが、医師による説明と患者の同意に基づくものはインフォームド・コンセントである。 |
| 問4 | 答え 3 反動形成 | 自分の本心（好意など）を抑圧し、それとは正反対の態度（冷淡さや敵意など）を強調して表出させる防衛機制を反動形成と呼ぶ。これは、受け入れがたい欲求が意識にのぼるのを防ぐための無意識的な心の働きである。 |
| 問5 | 答え 3 フロイト | 無意識の領域に着目し、精神分析学を創始したオーストリアの精神医学者である。彼は、人間の精神を本能的欲求である「エス（イド）」、道徳的良心である「超自我」、そして現実原則に従って両者を調整する「自我」の3つの領域に分けた。自我がエスと超自我の葛藤を調整しきれなくなった際に、不安を和らげるために無意識に働く心理的適応の仕組みを防衛機制と呼んだ。 |
| 問6 | 答え 3 エスノセントリズム | 自文化を基準に他文化を評価し、自らの文化の優位性を信じる態度はエスノセントリズム（自民族中心主義）と呼ばれる。歴史的には、帝国主義時代におけるヨーロッパ諸国による植民地支配の正当化などにこの態度が見られた。これに対比される概念として、すべての文化に独自の価値を認める文化相対主義がある。 |
| 問7 | 答え 4 積極的安楽死 | 患者本人の明確な意思（要請）に基づき、医師などの第三者が致死薬の投与といった手段を用いて人為的に死をもたらす行為を指す。延命治療を中止して自然な死を迎えさせる尊厳死（消極的安楽死）とは区別される。世界には、厳格な手続きを経ることを条件に、この行為を合法化している国や地域も存在する。 |
| 問8 | 答え 2 帯グラフ | 全体に対する各項目の割合（構成比率）を視覚的に示すためには、1本の帯をパーセンテージで分割して表すグラフが最も適している。時系列の変化を示すには折れ線グラフ、複数の評価項目を比較するにはレーダーチャートが用いられる。 |
| 問9 | 答え 1 デューイ | 日常の経験を出発点として、直面する課題を解決するために知性を働かせること（創造的知性）の重要性を説いたのはデューイである。彼は、知識を固定的なものせず、環境に適応し経験を再構成するための『道具』として捉える道具主義を提唱した。日々の暮らしの中のありふれた経験を批判的に捉え直し、思考を深めるプロセスは、彼のプラグマティズム思想の核心をなしている。 |

高校公民プリント（過去問類似）

青年期と現代社会 No.2

名前

得点

/10

問1 人間のパーソナリティ（人格）の理解において、その人がどのような文化的価値を追求し、何に重きを置いているかに着目し、真理を求めるタイプや他者への愛を求めるタイプなど、6つの価値タイプに分類する理論を提唱したドイツの哲学者は誰か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. シェルドン 2. クレッチマー 3. ユング 4. シュブランガー

問2 1997年に制定され、2009年の改正（2010年全面施行）によって、本人の提供意思が不明な場合であっても、家族の書面による承諾があれば、年齢にかかわらず判定および提供が可能となった、日本の生命倫理に関する代表的な法律は何か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 母体保護法 2. 臓器移植法 3. 優生保護法 4. 臨床研究法

問3 人間の生涯を発達段階ごとに区分した「人生周期（ライフサイクル）」という概念を提示し、それぞれの段階に特有の発達課題と心理社会的危機が存在すると主張した。特に青年期における最重要課題として「自我同一性（アイデンティティ）」の確立を挙げ、これが揺らぐ状態を同一性拡散と呼んだ、アメリカの精神分析学者は誰か。（2008年 全国公立入試 類似）

1. エリクソン 2. オルポート 3. フランクル 4. ロジャーズ

問4 生まれや家柄といった属性ではなく、個人の能力や努力、業績（学力や試験結果など）によって社会的地位や評価が決定されるべきであるとする考え方を何というか。なお、日本・アメリカ・イギリス・ドイツ・スウェーデンの5か国を対象とした若者の意識調査では、社会での成功要因として学歴を挙げる割合はいずれの国でも極めて低く、この考え方が単純な学歴至上主義とは異なる形で捉えられている実態が示されている。（2016年 全国公立入試 類似）

1. オートクラシー 2. テクノクラシー 3. プルトクラシー 4. メリトクラシー

問5 現代の大衆社会において、人々は内面的な信念や伝統に従うのではなく、周囲の期待やマスコミの動向に敏感に反応し、他者に合わせようとする傾向が強まるとされる。このような性格類型を「他人指向型（他人決定型）」と呼び、互いに関わりを持ちながらも孤立している現代人を「孤独な群衆」と名付けたアメリカの社会学者は誰か。（2023年 全国公立入試 類似）

1. テンニース 2. リースマン 3. マルクーゼ 4. ヴェーバー

問6 欲求不満（フラストレーション）に直面した際、理性的・合理的な解決や防衛機制による無意識の調整を図ることなく、他者への八つ当たりや暴力などの短絡的かつ衝動的な行動によって直接的に欲求を解消しようとする反応を何というか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 反動形成 2. 迂回反応 3. 近道反応 4. 攻撃行動

問7 他者の行動を評価する際、その人が置かれた状況や環境に原因があるとは考えず、その人の性格や能力など、自身に原因があるとして帰属させてしまう認知の偏りを何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 敵意帰属バイアス 2. 自己奉仕バイアス 3. 基本的帰属の誤り 4. 偽の合意効果

問8 現代社会の課題解決に向けた情報収集において、文献やインターネットによる調査だけでなく、課題に直接関わる当事者や専門家に対して直接対面やオンラインで質問を行い、生の声や専門的な知見を聞き取る調査手法を何というか。（2017年 全国公立入試 類似）

1. アンケート 2. インタビュー 3. ワークショップ 4. ディベート

問9 マズローが提唱した欲求段階説において、生理的欲求や安全の欲求、社会的欲求、承認の欲求が満たされた後に現れる、自分の持つ能力や可能性を最大限に発揮して自分らしく生きたいと願う、最も高次の欲求を何というか。（2020年 全国公立入試 類似）

1. 生理的な欲求 2. 社会的な欲求 3. 精神的な欲求 4. 自己実現の欲求

問10 カントの倫理学において、道徳的な義務を果たすことよりも、自らの恐怖の回避や心の平穏といった主観的な欲求を優先し、結果として他者を蔑ろにしてしまうような行為の動機や姿勢を何と呼ぶか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 他人の幸福の促進 2. 自己本位の安楽 3. 自己の生命の保存 4. 自己の才能の開拓

答え合わせ・解説 No.2

| | | |
|-----|------------------|--|
| 問1 | 答え 4 シュブランガー | 人間の精神生活において追求される価値の領域（理論、経済、審美、社会、権力、宗教）に基づき、パーソナリティを6つのタイプに分類した。これは、個人の行動の動機や価値観を理解するための代表的な類型論として知られている。 |
| 問2 | 答え 2 臓器移植法 | 2009年の改正により、本人が提供を拒否する意思を示していない限り、家族の書面による承諾があれば、15歳未満の小児も含めて判定および提供が可能となった。これにより、それまで本人の書面による意思表示が必要であった要件が緩和され、移植医療の機会が広がる一方で、家族への精神的負担や意思決定のあり方についての議論も続いている。 |
| 問3 | 答え 1 エリクソン | 人間の生涯を8つの発達段階に区分し、それぞれの段階における心理社会的危機とそれを乗り越えることで獲得される徳（強さ）を体系化した。青年期においては、自分は何者であり、社会の中でどのような役割を果たすべきかという問いに対する確信である「自我同一性（アイデンティティ）」の確立が最重要課題であると位置づけた。 |
| 問4 | 答え 4 メリトクラシー | イギリスの社会学者マイケル・ヤングが提唱した概念で、出自ではなく個人の能力（merit）と努力によって地位が決まる社会を指す。現代社会においては、これが学歴偏重主義や新たな格差を生む原因として批判的に議論されることもある。内閣府の意識調査において、日本を含む5か国の若者が「学歴」を成功要因として低く評価していることは、単なる学歴という指標を超えた個人の努力や才能が重視されている、あるいは学歴社会に対する冷ややかな視線を反映していると考えられる。 |
| 問5 | 答え 2 リースマン | 『孤独な群衆』の著者である。彼は、歴史的な社会の変遷に伴って人間の性格類型が「伝統指向型」から「内部指向型」、そして現代大衆社会における「他人指向型」へと変化したと分析した。他人指向型の人間は、周囲の動向やマスコミのメッセージに敏感に同調することで、内面的な孤独感を和らげようとする特徴を持つ。 |
| 問6 | 答え 3 近道反応 | 欲求不満が生じた際、人間は様々な方法で適応を図る。理性的・合理的に解決しようとする「合理的解決」や、無意識のうちに心の安定を保とうとする「防衛機制」とは異なり、衝動をコントロールできずに他者への暴力や八つ当たりといった短絡的な行動に走ることを近道反応（ショートカット・リアクション）と呼ぶ。 |
| 問7 | 答え 3 基本的帰属の誤り | 他者の行動の原因を説明する際、周囲の状況や環境といった外的な要因を過小評価し、その人の性格や態度といった内的な要因を過大評価してしまう現象を指す。例えば、他者が約束の時間に遅れた理由について、電車の遅延という環境的な要因を考慮せず、「本人のだらしなさ」という内的な要因に原因を求めることがこれに該当する。 |
| 問8 | 答え 2 インタビュー | 当事者や専門家に直接働きかけて話を聞き取る手法をインタビュー（面接調査）と呼ぶ。アンケートなどの定量調査とは異なり、対象者の主観的な思いや詳細な背景、文脈などを深く掘り下げて把握する定性的調査手法として有効である。 |
| 問9 | 答え 4 自己実現の欲求 | マズローの欲求段階説において、ピラミッドの最上位に位置づけられる欲求である。他者からの評価や集団への帰属といった欲求を超えて、自己の潜在的な可能性を現実化しようとする創造的な欲求を指す。 |
| 問10 | 答え 2 自己本位の安楽 | カントは、道徳的行為の動機として、義務感からなされる行為のみに道徳的価値を認めた。自らの恐怖や心の平穏といった主観的な欲求（傾向性）を優先し、他者を蔑ろにする行為は、たとえ表面上は善を求めているように見えても、本質的には自己の保身を優先する姿勢を示している。 |

高校公民プリント（過去問類似）

青年期と現代社会 No.3

名前

得点

/9

問1 19世紀のヨーロッパにおいて、自らの文明化された社会を頂点とし、非ヨーロッパ地域の社会を「未開」や「野蛮」として位置づけ、自らの価値観を基準に他地域を評価・序列化した態度は、文化の捉え方におけるどのような考え方に分類されるか。

（2026年 全国公立入試 類似）

1. マルチカルチャリズム 2. カルチュラルレラティビズム 3. エスノセントリズム 4. ユーロセントリズム

問2 人間にとっての有用性や道具的価値にとどまらず、人間以外の動植物や生態系そのものに固有の価値を認め、それらが存続する権利を尊重すべきであるとする環境倫理の考え方を何というか。 （2021年 全国公立入試 類似）

1. 自然の生存権 2. 世代間の責任 3. 地球の有限性 4. 世代間の倫理

問3 意識調査によると、生活水準が「悪くなった」と感じている人ほど「努力は報われない」と考える割合が高い傾向にあり、1980年代末以降、日本社会における経済的不平等の実態が人々の意識に影を落としていることがうかがえる。現代の日本において、等価可処分所得の中央値の半分に満たない世帯で暮らす人々の割合を示す指標であり、先進国の中でも日本が比較的高い水準にあることから、格差社会の進展を示すものとして問題視されている社会的指標を何というか。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. 絶対的貧困率 2. 所得再分配率 3. 高齢者貧困率 4. 相対的貧困率

問4 生まれや家柄といった属性ではなく、個人の能力や努力、業績（学力や試験結果など）によって社会的地位や評価が決定されるべきであるとする考え方を何というか。なお、日本・アメリカ・イギリス・ドイツ・スウェーデンの5か国を対象とした若者の意識調査では、社会での成功要因として学歴を挙げる割合はいずれの国でも極めて低く、この考え方が単純な学歴至上主義とは異なる形で捉えられている実態が示されている。 （2016年 全国公立入試 類似）

1. オートクラシー 2. テクノクラシー 3. プルトクラシー 4. メリトクラシー

問5 ドイツの哲学者・教育学者であるシュプランガーは、青年期において、それまで客観的に捉えていた世界から自己の内面へと関心が向かい、他者とは異なる独自の自己を意識するようになる精神的な変化を何と呼んだか。 （2008年 全国公立入試 類似）

1. 発達課題 2. 心理的離乳 3. 第二の誕生 4. 自我のめざめ

問6 寄付の選択実験では、一人あたりの寄付金額や受け取る人数といった数値的な条件だけでなく、特定の個人の名前や顔写真の有無といった要素が選択行動や納得度に影響を与える。このように、単なる数値的な計算のみに基づいて「最大多数の最大幸福」を追求する道徳観を提示し、個人の質的な差異を考慮しない量的功利主義を提唱したイギリスの思想家は誰か。 （2014年 全国公立入試 類似）

1. ベンサム 2. シジウィック 3. ミル 4. シンガー

問7 インターネットや携帯電話などの普及に伴い、溢れる情報の中から必要なものを主体的に選択し、その信憑性を評価して適切に活用する能力が現代社会において強く求められている。このような、メディアから得られる情報を主体的に読み解き、発信する能力を何というか。 （2011年 全国公立入試 類似）

1. デジタル・ディバイド 2. メディア・リテラシー 3. ネット・リテラシー 4. デジタル・シチズンシップ

問8 ドイツ出身の医師・神学者であるシュヴァイツァーが提唱した、自己の存在を維持しようとする意志と同様に、他者や他の生物も「生きようとするもの」であると考え、あらゆる存在に対して愛と尊敬を抱き、それを尊ぶことを人間の根源的な責任とする倫理思想を何というか。 （2026年 全国公立入試 類似）

1. 自然の権利 2. 人間中心主義 3. 責任の原理 4. 生命への畏敬

問9 葛藤や欲求不満に直面した際、人間は無意識のうちに自己の崩壊を防ごうとする心の働きを示すことがある。このうち、満たされない衝動や直接的には実現できない欲求のエネルギーを、学問、芸術、スポーツ、ボランティア活動といった、社会的に価値が高いと認められる高尚な活動へと方向転換して発散させる心の働きを何というか。 （2005年 全国公立入試 類似）

1. 昇華 2. 否認 3. 補償 4. 逃避

答え合わせ・解説 No.3

| | | |
|----|----------------------------------|---|
| 問1 | 答え 3 エスノセントリズム | 19世紀の帝国主義期に見られた、自らの文明を絶対的な基準として他地域の文化を「遅れたもの」と評価し、序列化する態度は、エスノセントリズム（自民族中心主義）の典型例である。自文化の優位性を前提に他文化を裁くこの態度は、のちに文化の多様性を認める文化相対主義などの登場によって批判的に捉えられるようになった。 |
| 問2 | 答え 1 自然の生存権 | 従来の人間中心主義的な自然観では、自然は人間に利用されるための道具とみなされてきた。これに対し、人間以外の動植物や自然そのものにも固有の価値があり、生存する権利があると考える方が提唱された。これは、実験動物の慰霊や自然保護運動の思想的基盤ともなっている。 |
| 問3 | 答え 4 相対的貧困率 | 生活水準の悪化実感と「努力が報われない」という意識の結びつきは、社会的な格差の拡大を反映している。その格差や貧困の実態を示す指標の一つが相対的貧困率である。これは、その国の所得水準（中央値）の半分に満たない所得しか得ていない人の割合を示すもので、日本はOECD加盟国の中でもこの数値が比較的高く、特に単身の若年層やひとり親世帯において深刻な問題となっている。経済的困窮が固定化することで、個人の努力だけでは現状を打破できないという意識が強まる背景となっている。 |
| 問4 | 答え 4 メリトクラシー | イギリスの社会学者マイケル・ヤングが提唱した概念で、出自ではなく個人の能力（merit）と努力によって地位が決まる社会を指す。現代社会においては、これが学歴偏重主義や新たな格差を生む原因として批判的に議論されることもある。内閣府の意識調査において、日本を含む5か国の若者が「学歴」を成功要因として低く評価していることは、単なる学歴という指標を超えた個人の努力や才能が重視されている、あるいは学歴社会に対する冷ややかな視線を反映していると考えられる。 |
| 問5 | 答え 4 自我のめざめ | 青年期に自己の内面世界を発見し、他者とは異なる独自の自己を意識するようになる現象をこの言葉で表現した。これは、児童期から青年期への移行期における精神的自立を示す重要な指標とされる。 |
| 問6 | 答え 1 ベンサム | 寄付の選択実験において、一人あたりの寄付金額や受け取る人数といった量的な指標だけで人々の選択や納得度が決まるわけではなく、特定の個人の情報（名前や顔写真など）が意思決定に大きく影響することが示されている。これは、すべての価値を単一の尺度で計算可能とする立場への疑問を投げかけるものである。近代において、個人の質的な違いを考慮せず、快樂と苦痛を数値化して「最大多数の最大幸福」を追求する量的功利主義を提唱したのはベンサムである。彼は、すべての快樂は質的に等しいとし、快樂計算によって社会の幸福を最大化することを目指した。 |
| 問7 | 答え 2 メディア・リテラシー | 情報化社会の進展に伴い、溢れる情報の中から必要なものを主体的に選択し、その信憑性を評価して活用する能力の重要性が高まっている。単に情報を受け取るだけでなく、その送り手の意図を批判的に分析し、主体的に活用する能力を指す。 |
| 問8 | 答え 4 生命への畏敬 | シュヴァイツァーは、自己の生命を維持しようとする意志と同様に、他者や他の生物も「生きようとする生命」を持っていると考えた。このすべての生命に対して愛と尊敬を抱き、それを尊ぶことを「生命への畏敬」と呼び、人間の根源的な責任であると主張した。 |
| 問9 | 答え 1 昇華 | 満たされない欲求や衝動のエネルギーを、社会的に承認され価値があるとされる活動へと方向転換させて発散する心の働きを指す。これはフロイトらによって整理された防衛機制の一つであり、他の防衛機制（抑圧、合理化、投影など）が一時的な自己欺瞞や現実逃避の側面を持つのに対し、建設的で社会的に望ましい解決をもたらす特徴を持つ。 |

問1 障害のある人々を特別視して隔離するのではなく、障害をもたない人々と同じように、地域社会の中で普通の生活を送れる環境を整えるべきであるという考え方。1950年代にデンマークのバンク＝ミケルセンらによって提唱され、すべての人が同じ市民として共に生きる社会の実現を目指す福祉の基本理念を何というか。（2020年 全国公立入試 類似）

1. インクルージョン 2. バリアフリー 3. ユニバーサルデザイン 4. ノーマライゼーション

問2 現代の生命倫理において、人間の命はそれ自体が神聖不可侵であり、いかなる状態であっても絶対的な価値を有するという立場を指すアルファベット3文字の略称は何か。終末期医療において、回復の見込みがなくても生命を維持する治療を行うべきだとする主張の根拠とされる。（2023年 全国公立入試 類似）

1. QOL 2. SOL 3. DNR 4. ADL

問3 1997年に制定され、脳死体からの移植の道を開くとともに、人道的な観点から、臓器の提供や受領において金銭などの対価を授受することを厳しく禁止している日本の法律は何か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 臓器移植法 2. 予防接種法 3. 母体保護法 4. 優生保護法

問4 近代科学技術の発展は人間に豊かな生活をもたらした一方で、深刻な環境破壊を引き起こした。これに対し、農薬などの化学物質が生態系に与える危険性を指摘し、人間もまた自然の循環から切り離せない生態系の一部であることを警告して、現代の環境運動に大きな影響を与えたアメリカの生物学者は誰か。（2017年 全国公立入試 類似）

1. アルド・レオポルド 2. レイチェル・カーソン 3. ハンス・ヨナス 4. ピーター・シンガー

問5 アメリカの社会学者が著書『孤独な群衆』の中で指摘した、現代の大量消費社会において、同世代の仲間やマスメディアなどの他者の期待や好みに自らの行動を同調させようとする社会的性格を何というか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 市場指向型 2. 他人指向型 3. 伝統指向型 4. 内部指向型

問6 現代の医療倫理において、がんなどの生命を脅かす疾患に直面している患者やその家族に対し、身体的な痛みだけでなく、精神的、社会的、さらには人生の意味や価値に関わるスピリチュアルな苦痛（トータル・ペイン）を和らげ、患者や家族の生活の質（QOL）を向上させることを目的とした医療やケアのアプローチを何というか。（2009年 全国公立入試 類似）

1. 看護ケア 2. 緩和ケア 3. 終末ケア 4. 在宅ケア

問7 現代社会における合意形成や課題解決のプロセスにおいて、多様な視点から新しい発想を得るために用いられる集団発想法がある。この手法では、他者の意見を批判・否定せず、自由奔放に多くのアイデアを出し合うことがルールとされる。この集団発想法の名称として最も適当なものを答えよ。（2024年 全国公立入試 類似）

1. ブレインストーミング 2. ディベート 3. シンポジウム 4. パネルディスカッション

問8 欲求不満（フラストレーション）が生じた際、無意識のうちに自己の崩壊を防ごうとする心の働きを「防衛機制」という。このうち、抑圧された欲求や感情が意識にのぼるのを防ぐために、それとは正反対の態度や行動を強調してとる心の働きを何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 退行 2. 同一化 3. 反動形成 4. 昇華

問9 幼児に対して「目の前のお菓子を一定時間食べるのを我慢できたら、もう一つあげる」と約束し、その後の行動を追跡することで、幼児期の自制心と将来の社会的成功との関連性を調査した、心理学者ウォルター・ミシエルらによる著名な実験を何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. キャッテル実験 2. シャクター実験 3. ミルグラム実験 4. マシュマロ実験

答え合わせ・解説 No.4

| | | |
|----|----------------------------------|--|
| 問1 | 答え 4 ノーライゼーション | 1950年代にデンマークで提唱されたこの理念は、障害の有無や年齢などにかかわらず、すべての人が社会の一員として区別されることなく、対等に共に暮らせる社会（共生社会）を目指すものである。バリアフリーやユニバーサルデザインなどの具体的な施策や設計思想の根底にある、最も基本的な福祉の理念として位置づけられている。 |
| 問2 | 答え 2 SOL | あらゆる人間の生命には絶対的な価値があり、他者がそれを損なうことは許されないとする考え方を「生命の尊厳（SOL：Sanctity of Life）」と呼ぶ。医療現場においては、患者の意識がない状態や回復の見込みがない終末期であっても、可能な限りの延命治療を行うべきだとする倫理的根拠として機能してきた。これに対し、生命の「質」や患者自身の自己決定権、満足度を重視する立場は「QOL（Quality of Life）」と呼ばれる。 |
| 問3 | 答え 1 臓器移植法 | 1997年に制定された臓器移植法は、脳死後の臓器提供を可能にする一方で、臓器の提供や受領において対価を支払ったり受け取ったりする行為（臓器売買）を厳しく禁止している。これは、経済的弱者が不当に搾取されることを防ぎ、人道的な観点から生命の尊厳を守るための規定である。なお、2009年の改正により、本人の意思が不明な場合でも家族の同意があれば臓器提供が可能となった。 |
| 問4 | 答え 2 レイチェル・カーソン | 近代の人間中心主義的な自然観や科学技術至上主義に対し、人間を自然の一部（生態系の一部）として捉え直す視点を提供した。著書『沈黙の春』は、殺虫剤などの化学物質による環境汚染を告発し、人間と自然の相互依存関係を訴え、環境倫理学の先駆となった。 |
| 問5 | 答え 2 他人指向型 | リースマンは、人口動態や社会の発展段階に対応して、人々の社会的性格が「伝統指向型」「内部指向型」「他人指向型」へと変化すると説いた。現代の高度消費社会では、他者やマスメディアの動向に敏感に反応し、周囲に同調しようとする「他人指向型」が支配的になるとされる。 |
| 問6 | 答え 2 緩和ケア | 生命を脅かす病に直面する患者とその家族に対して、身体的苦痛のみならず、精神的、社会的、スピリチュアルな苦痛からなる「全人的苦痛（トータル・ペイン）」を早期に発見・評価し、それらを和らげることで、患者や家族が自分らしく生きられるよう「生活の質（QOL）」を向上させるアプローチを緩和ケアと呼ぶ。これは単に死を目前にした末期医療（ホスピスケア）に限定されるものではなく、診断の初期段階から治療と並行して行われるものである。 |
| 問7 | 答え 1 ブレインストーミング | 互いの意見を批判・否定せず、自由奔放にアイデアを出し合うことで新しい発想を生み出す手法をブレインストーミング（BS法）と呼ぶ。これに対し、特定の論題について肯定側と否定側に分かれてルールに従って討論し、第三者を説得する手法はディベートと呼ばれる。 |
| 問8 | 答え 3 反動形成 | 抑圧された欲求や感情が意識化されるのを防ぐため、本心とは正反対の態度や行動を強調してとる防衛機制を反動形成という。例えば、好きな相手に対してわざと冷淡に接するような行動がこれに該当する。 |
| 問9 | 答え 4 マシュマロ実験 | ウォルター・ミシェルらによって行われたこの実験は、幼児期の自制心の強さが将来の学術的・社会的成功を予測する重要な指標になるとされ、長年広く支持されてきた。しかし近年の再検証研究では、幼児が誘惑に耐えられたかどうかは、単なる個人の自制心の有無だけでなく、その子どもが置かれた家庭の経済状況や、周囲の大人に対する信頼感といった環境要因に強く依存していることが明らかになり、初期の結論に対する批判的検証が進んでいる。 |

問1 情報技術の進展に伴い、労働環境や個人の意識にも変化が生じている。日米の意識調査によると、日本の就業者の約7割が人工知能の普及によって自身の仕事が代替されると懸念しているものの、具体的な対応や準備を「特に行わない」とする割合は半数を超え、アメリカの2倍以上となっている。このような、新しい技術への適応や活用能力の差が、将来的に個人の雇用や所得における不平等を固定化・拡大させる要因となることが懸念されている。この、情報通信技術の利用機会や活用能力の違いによって生じる社会的・経済的な格差を何というか。（2020年 全国公立入試 類似）

1. フィルター・バブル 2. デジタル・デバイド 3. フェイク・ニュース 4. テクノ・ストレス

問2 自我が欲求不満や葛藤による不安に直面した際、無意識のうちにその不安を和らげ、自己の崩壊を防ごうとする心の適応の働きを総称して何というか。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 回避行動 2. 防衛機制 3. 攻撃行動 4. 逃避行動

問3 一人の女性が一生の間に産むと見込まれる子どもの平均数の推計値であり、現代日本における人口減少や家族の変容、少子化の進行度合いを測る指標として用いられる統計上の用語は何か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 社会保障給付費 2. 生産年齢人口 3. 合計特殊出生率 4. 老年人口比率

問4 現代社会の特質として、従来の製造業中心の社会から、サービス業や情報・知識の生産が中心となり、理論的知識が社会の主導的な役割を果たすようになった社会の形態を、アメリカの社会学者ベルは何と呼んだか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 脱工業社会 2. 超高齢社会 3. 多文化社会 4. 情報化社会

問5 青年期に差し掛かると、体内で性ホルモンの分泌が活発になり、それによって生殖器以外の部分に男女の身体的特徴が顕著に現れるようになる。この身体的発達の現象を何と呼ぶか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 第二性徴 2. 第一性徴 3. 身体的発達 4. 精神的発達

問6 意識調査によると、生活水準が「悪くなった」と感じている人ほど「努力は報われない」と考える割合が高い傾向にあり、1980年代末以降、日本社会における経済的不平等の実態が人々の意識に影を落としていることがうかがえる。現代の日本において、等価可処分所得の中央値の半分に満たない世帯で暮らす人々の割合を示す指標であり、先進国の中でも日本が比較的高い水準にあることから、格差社会の進展を示すものとして問題視されている社会的指標を何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 絶対的貧困率 2. 所得再分配率 3. 高齢者貧困率 4. 相対的貧困率

問7 青年期は、大人としての責任や義務を一時的に猶予された期間（モラトリアム）とされる。この期間において、自己のアイデンティティを模索するために、様々な社会的立場や活動を試験的に試みることを、エリクソンは何と呼んだか。（2015年 全国公立入試 類似）

1. 役割実験 2. 自己確立 3. 自己受容 4. 自己開示

問8 社会調査において、対象となる集団の全体的な傾向を統計的に把握するために、あらかじめ設計された共通の質問項目を用いて、多くの回答者から情報を収集する調査手法を何というか。（2018年 全国公立入試 類似）

1. アンケート調査 2. インターネット調査 3. オンライン調査 4. モニター調査

問9 グローバル化が進む現代社会において、異なる文化背景を持つ人々との共生が課題となっている。しかし、国籍や人種などの属性を理由に「外国人には自国の文化を理解することは本質的に不可能である」と決めつけ、他者を排除しようとする思考様式が見られる。このように、自己の属する集団の文化や価値観を絶対的な基準とし、それに基づいて他者の文化を否定的に評価・排除する態度を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ステレオタイプ 2. ユーロセントリズム 3. ゼノフォビア 4. エスノセントリズム

問10 青年期における精神的・社会的な自己の目覚めを「第二の誕生」と表現し、一度目は生存するために、二度目は生活するために生まれると説いた、教育論『エミール』の著書で知られるフランスの思想家は誰か。（2020年 全国公立入試 類似）

1. カント 2. ロック 3. ミル 4. ルソー

答え合わせ・解説 No.5

| | | |
|-----|-------------------|--|
| 問1 | 答え 2 デジタル・デバイド | 日本の就業者は人工知能（AI）の普及に対して「仕事を奪われる」という懸念を抱きつつも、具体的な準備や対応を行わない割合がアメリカに比べて非常に高い（2倍以上）。このような技術変化への対応の遅れや能力の差は、将来的に労働市場における格差を生み出す要因となる。情報通信技術（ICT）を使いこなせる者とそうでない者の間に生じる、雇用や収入などの社会的・経済的な格差は「デジタル・デバイド（情報格差）」と呼ばれる。 |
| 問2 | 答え 2 防衛機制 | 自我が脅かされるような欲求不満や葛藤に直面した際、無意識のうちに不安を和らげ、自己の統合を維持しようとする心の働きを防衛機制という。精神分析の創始者であるフロイトによって見出され、その娘アンナ・フロイトらによって体系化された。これには抑圧、合理化、投影、昇華など様々な種類が存在する。 |
| 問3 | 答え 3 合計特殊出生率 | 15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を足し合わせたもので、人口動態を把握する上で重要な指標である。日本においては、1966年の丙午（ひのえうま）の年に一時的に急激に低下したものの翌年には回復したが、1970年代半ば以降は長期的な低下傾向が続いており、少子化が深刻な社会問題となっている。 |
| 問4 | 答え 1 脱工業社会 | アメリカの社会学者ダニエル・ベルが提唱した概念。工業化が高度に進展した結果、物質的な生産活動（工業）よりも、情報、知識、サービス、技術などの非物質的な価値の生産や消費が社会の中心的な産業となる社会のあり方を指す。 |
| 問5 | 答え 1 第二次性徴 | 青年期における身体的発達において、性ホルモンの分泌亢進に伴い、生殖器以外の部位に現れる男女の身体的特徴の変化を第二次性徴と呼ぶ。これに対し、生まれつき備わっている生殖器そのものの違いは第一次性徴と呼ばれる。 |
| 問6 | 答え 4 相対的貧困率 | 生活水準の悪化実感と「努力が報われない」という意識の結びつきは、社会的な格差の拡大を反映している。その格差や貧困の実態を示す指標の一つが相対的貧困率である。これは、その国の所得水準（中央値）の半分に満たない所得しか得ていない人の割合を示すもので、日本はOECD加盟国の中でもこの数値が比較的高く、特に単身の若年層やひとり親世帯において深刻な問題となっている。経済的困窮が固定化することで、個人の努力だけでは現状を打破できないという意識が強まる背景となっている。 |
| 問7 | 答え 1 役割実験 | エリクソンは、青年期をアイデンティティ（自己同一性）の確立の時期と位置づけ、社会的な責任や義務が猶予される心理社会的モラトリアム（猶予期間）の重要性を指摘した。この期間中、青年は様々な社会的役割を試行錯誤しながら体験する「役割実験」を通じて、自己の生き方や価値観を模索し、自己同一性を形成していくとされる。 |
| 問8 | 答え 1 アンケート調査 | 全体的な傾向を統計的に把握するためには、あらかじめ用意された共通の質問項目を用いて回答を求める手法が有効である。これにより、客観的かつ数値的なデータを効率よく集めることができる。 |
| 問9 | 答え 4 エスノセントリズム | 自己の属する集団や民族の文化を基準として、他の文化を低く評価したり、理解不可能として排除したりする態度はエスノセントリズム（自民族中心主義）と呼ばれる。これは、個人の学習経験や知識の不足といった個別的な要因ではなく、国籍や人種といった「属性」そのものを理由に他者を境界線の外に置く偏見や本質主義的思考に基づいている。多文化共生社会を実現するためには、こうした態度を克服し、それぞれの文化をその文脈において理解しようとする文化相対主義的な視点が必要となる。 |
| 問10 | 答え 4 ルソー | 青年期を「第二の誕生」と位置づけ、性をもった存在として精神的・社会的に生まれ変わる時期であると指摘したのは、フランスの啓蒙思想家ルソーである。彼は自然主義的な教育論を展開した『エミール』においてこの概念を提唱し、子どもの発達段階に応じた教育の重要性を説いた。 |